

「リサイクル・清掃事業の効率化と負担のあり方について」答申(素案)
 に対するパブリックコメントの実施結果

(意見募集期間 平成 24 年 4 月 1 日 ~ 4 月 23 日 意見 : 13 通 27 件)

	意見の概要
1	<ul style="list-style-type: none"> 程度問題ではあるが、賛成せざるを得ない情勢だと思う。ただし、公平性にこだわるあまり複雑な仕組みにしないこと。有料化にすると、他区や埼玉県に不法投棄する人は出てくるだろうが、それは割り切るしかないと思う。それを防ぐために、戸別収集など複雑な仕組みを作るとエネルギー消費、二酸化炭素排出に繋がる。実施してみて特にひどい地域には、追加の対策を取ればよい。 練馬区は、光が丘のような集合住宅の多い地域、一方、戸建て住宅の多い地域とあるが、この違いを前提に考えていく必要がある。集合住宅はごみの排出方法が建物の構造上決まっており、それを変えることは難しいので、シンプルな方法で制度を設計する必要がある。不法投棄など目に余る場合には、警察との連携などで法的に解決する方式がよい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ごみを減らすために再利用できるものは、極力リサイクルしなければと考えている。そのため、家庭ごみの有料化に賛成する。有料化する場合は、是非、戸別収集を実施してほしい。集積所ではルールを守らない人がおり、集積所を提供している家に迷惑がかかることがある。戸別収集は、自分の家の前ならルールを守るようになり、出すごみの量も減量されると思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 私の家庭ではごみの減量化に取り組んでおり、1回5 ぐらいの量しかごみは出ない。20 の袋を買うことが負担となると、ごみを2週間家に溜めておくことになる。単身者も同じだと思う。有料化する場合は、5 5 円など小さいサイズも用意してほしい。 不法投棄する人も出てくると思うが、その処理にかかる費用も考えてほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの有料化は、基本的に賛成である。例えば 45 1 枚 50 円、30 1 枚 30 円などの専用ごみ袋を用意し、それ以外のごみは回収しないようにする。 個人情報保護の観点から難しいかも知れないが、ごみの分別を促進するため、袋に氏名を記入させる。こうすることで、分別が進めば資源にまわるごみが増え、全体のごみの減量に繋がると思う。 粗大ごみの回収、処分について、現在の方式では家具類の再利用が効率的とはいえない。資源循環センターと各リサイクルセンターの連携ができていない。 また、せっかく再利用できる家具が破碎処理にまわっているなど、回収方法にも問題がある。

5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみ有料化については、基本的に賛成である。有料化の手法は、超過量従量制に賛成する。無料と有料の境界が明確に線引きされると、ごみ減量の努力目標として取り組みやすい。 ・ ごみ袋の配布方法は、1年分の引換券を各世帯に郵送し、区立施設や区内の商店で随時、引き換えができるようにし、同じ場所で超過分の購入もできるようにしてはどうか。 また、大量にごみを出したい場合の大袋は、1枚目から有料でよいと考えるが、通常のごみ袋の引換券複数枚での交換も可能なように、柔軟な運用ができれば更に望ましいと考える。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみに対して、区民一人ひとりが意識を持つためにも、家庭ごみの有料化と同時に戸別収集をすることに賛成する。 ・ 戸別収集を実施した場合、既存の集積所はなくなるのか。答申に「既存の集積所を廃止してよい」という一文と、敷地内に食い込む形の集積所について、区分所有の場合の所有権の変更についての相談窓口も明記してほしい。 集積所がなくなった街並みは美しくなり、有料化・戸別収集の導入は区の魅力の一つとなり大いにアピールできると思う。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの有料化は、ごみ量の減量化と明確に位置づけ、その際リバウンド防止策も併せて示してほしい。 ・ 有料化にあたっては、区民一人ひとりのごみ減量努力を反映した「負担の公平」を必ず図ってほしい。また、不法投棄等有料化逃れ対策をきちんと取ってほしい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経費の一部を排出者が負担することには賛成する。理由としては、環境保全を意識して分別を徹底し、ごみの排出を少なくする努力をしている人としていない人の負担の公平化に繋がるからである。 ・ 費用負担の手法の検討はどのようにするのか。集合住宅への対応や、個人情報についての対応が難しいと思うが、なるべく複雑でないシンプルな方法を希望する。 ・ 経費負担の前に、資源循環可能な品目についての行政回収の実施を明記してほしい。 金属回収を身近な出しやすい場所で、積極的に進めてほしい。 生ごみの堆肥化方法について、区民に情報提供、講習会など早急に企画実施することを明記してほしい。 子どもから高齢者まで、誰にでも理解しやすいように工夫した情報発信に力を入れるなど、環境教育の充実について明記してほしい。

9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化の手法は、単純従量制でよい。 ・ 集積所方式は廃止し、戸別収集としてほしい。集積所が私の住居の向かい側にあるが、時々不法投棄もある。また、戸別収集にした場合は、カラス対策も十分に行ってほしい。 ・ 有料袋、または有料シールには氏名の記入をする必要はないか。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの有料化には絶対反対である。不法投棄が増えるに決まっている。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみの有料化には、反対である。家庭内のごみは最小限にとどめている。また、区のスローガンにもなっている「緑豊かな練馬」に少しでも協力しているつもりだが、落ち葉もごみとなるのか。 3Rは大事な提案で、私も心がけているが、ごみは平等に誰でもが気持ちよく出せるのが一番である。有料化の前に、生活に追われ時間のない人たちが、利用したくても出来ない敬老館や図書館などでの催事など、経費を抑えるべき所が他にあるのではないかと感じている。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみの有料化、戸別収集については反対である。その理由としては、清掃事業は自治体の責務であり税金でまかなわれるべきである。排出量により料金差別化を図ったにしても、一般区民に負担を強いることはあってはならない。 ・ リサイクル・清掃事業の効率化は必要で、車両費ばかりが膨らむ現行の回収方法は、非効率的で改善しなければならない。 戸別収集で車両が20%も増えるとなると、循環型社会のためのリサイクル推進の基本理念に反する。高齢者等への戸別収集はやむをえないが、全てを戸別にする必要はない。ごみの収集を通して、要援護者への見守りや集積所トラブルの解決支援など地域のコミュニティづくりに貢献するのも清掃事業の公的側面だと期待している。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの有料化は、EPR(拡大生産者責任)との両輪と考える。EPRの徹底が進まず、自治体の税金で収集選別がされている現状で、有料化のみを進めるのはごみを減らす努力をしている消費者への二重負担を強いることになる。 資源化に協力しない消費者へのペナルティとして、ごみの有料化はEPRの徹底と同時にスタートすることがごみを減らす最も望ましい施策と考える。区はまず廃棄物会計を公表し、次の容器包装リサイクル法の改正で、EPRの徹底を実現しよう、23区一体で国に主張する活動を実践してほしい。 ・ 資源とごみを戸別収集することは、自分で出すごみに責任を持つ意味で有効だと思う。EPRを徹底して、収集費用は事業者にも適正に負担してもらうことが必要である。 ・ EPRとの両輪でごみの有料化を実施する場合は、1.5袋1枚は無料で配布してほしい。無料の袋に納める努力が期待できる。

